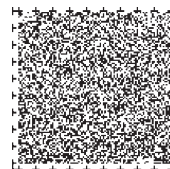


特別支援学校進路指導担当者向け 事業説明会及び見学会開催報告

自立支援局 総合相談支援部 総合相談課



去る6月17日、本館大会議室において「特別支援学校進路指導担当者向け事業説明会及び見学会」を開催いたしました。この会は、当センター広報活動の一環として昨年度より試行的に開始された企画で、今年度は、視覚特別支援学校を含む全国の特別支援学校352校へ案内状を送付し、北は北海道から西は山口県までの、肢体特別支援学校・養護学校19校、視覚特別支援学校・盲学校6校、聴覚特別支援学校・ろう学校6校の合計31校、32名の進路指導担当教職員の方にご参加いただきました。

開会のご挨拶と当センター自立支援局で行っている事業の概要について後藤総合相談課長、続いて就労移行支援について小松原就労移行支援課長、養成施設について中村教務統括官が各々の説明を行い、又、国立職業リハビリテーションセンター(以下「職リハ」という。)の職業訓練の概要、就職状況等については、評価課の佐川主任障害者職業カウンセラーより説明を行いました。

説明会後は、当センターの就労移行支援、自立訓練、宿舎等をご見学いただき、続いて職リハの見学を行いました。

質疑応答の時間では、訓練終了後の後指導につい

て、離職率の状況、自立訓練後の家庭復帰の状況、車椅子ユーザーの養成施設への受け入れ状況、再理療教育課程の国家試験合格の可能性などについてご質問がありました。

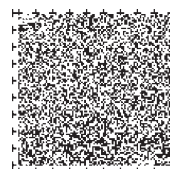
終了後にご記入いただきましたアンケート結果では、日程については、「今回同様の時期」を希望される方が全体の65%、「夏休み期間の開催」を希望される方が30%でした。開催時間帯については、今回同様に「午後みのプログラム」を希望される方が74%、「午前からの一日がかり」を希望される方が13%で、「授業を担当しながら外勤するには、午後からの半日の企画が体制上組みやすい、遠方からの日帰り参加が可能となるので大変ありがたい。」との感想を頂戴した一方、事業内容が多岐にわたることから「説明会と見学会を、日を分けて開催する」あるいは「午前午後で分けて選択制にしては。」との貴重なご意見もいただきました。

また、「利用者さんが実際に訓練を受けている場面を見学したかった。」とのご意見を多数頂戴したことから、今後は、プログラムの順番を組み替える等の必要性を感じました。

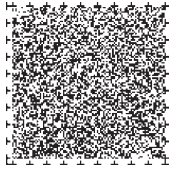
今後のセンター利用希望の有無を確認したところ「利用を希望する生徒が実際にいて、利用を勧めてみたい」と回答いただいたのが32%、「今のところ希望者はいないが、対象と考えられる生徒さんがいた場合に勧めてみたい」が65%で、合計すると「利用希望したい。」と回答した方が実に97%と大変に高い関心を持っていただいていることが分かりました。

その一方で、「当センター利用を勧めるに当たっての要望」としてあがったのは「学力は高いが、日常生活動作が自立していない生徒が就労移行支援を利用出来る機会があるとよい。」

「入寮にあたって、見守りが必要な生徒さんが利用可能となる職員



事業説明会の様子



体制にして欲しい。(※自立訓練の一部は既に実施している。)」点があげられました。同様のご希望やご意見は、電話相談や外来相談時等にも聞かれる内容であり、こうしたニーズが潜在していることが再確認されました。

特別支援学校生徒さんの進路決定の際の選択肢の

一つとして、当センターをご活用いただけますよう、頂戴いたしました貴重なご要望ご意見を参考にさせていただきながら、より充実した企画となることを目指して今後も継続して参りたいと思います。

ご多忙の中、ご参加いただきました全国の特別支援学校教職員の皆様に心より御礼申し上げます。

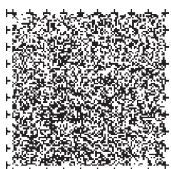
今回ご参加いただいた学校一覧

	学校名
1	北海道高等聾学校
2	宮城県立船岡支援学校
3	長野県松本盲学校
4	茨城県立盲学校
5	茨城県立水戸養護学校
6	千葉県立千葉盲学校
7	千葉県立千葉聾学校
8	千葉県立桜が丘特別支援学校
9	千葉県立袖ヶ浦特別支援学校
10	埼玉県立特別支援学校塙保己一学園
11	埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園
12	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
13	埼玉県立川島ひばりヶ丘特別支援学校
14	埼玉県立熊谷特別支援学校
15	埼玉県立越谷特別支援学校
16	埼玉県立宮代特別支援学校
17	さいたま市立養護学校
18	東京都立八王子盲学校
19	東京都立葛飾ろう学校
20	東京都立立川ろう学校
21	東京都立あきる野学園
22	東京都立永福学園
23	東京都立大泉特別支援学校
24	東京都立小平特別支援学校
25	東京都立青峰学園
26	東京都立城南特別支援学校
27	東京都立八王子東特別支援学校
28	東京都立墨東特別支援学校
29	横浜訓盲学院
30	神奈川県立金沢養護学校
31	山口県立周南総合支援学校

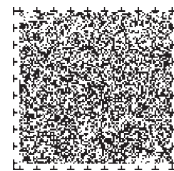
開催当日の日程

時 間	内 容
13:00~13:05	オリエンテーション (あいさつ等)
13:05~14:00	国立障害者リハビリテーションセンター ・自立支援局の概要等説明 ・就労移行支援の概要、進路等の状況説明 ・養成施設の概要説明 ・養成施設の進路等の状況説明 ・施設入所支援
14:00~14:30	国立職業リハビリテーションセンター ・職業評価 ・職業訓練の概要 ・就職状況 ・利用手続き
14:30~14:35	一休憩—
14:35~16:45	見 学 ・国立障害者リハビリテーションセンター見学 (就労移行支援、養成施設、宿舎等) ・国立職業リハビリテーションセンター見学
16:45~17:00	質疑応答 アンケート調査

※ 今回の事業説明会開催にあたり「参加者の名札作成」及び「センターパンフレットや募集要項等の発送準備作業」等を、就労移行支援の利用者の皆さんに職場体験訓練の一環としてお手伝いいただきました。



自立訓練部利用者の野外訓練実施報告



去る6月21日（火）に「国営昭和記念公園 バーベキューガーデン」にて自立訓練利用者（視覚障害、肢体不自由、高次脳機能障害）の野外訓練を実施しました。総勢71名、利用者37名（視覚障害13名、肢体不自由13名、高次脳機能障害11名）職員34名が参加しました。

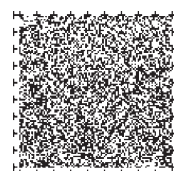
この野外訓練は、視覚障害者や肢体不自由者を対象とする機能訓練と高次脳機能障害者を対象とする生活訓練の利用者が一緒になり、事前準備等に関わる集団訓練において経験を積むと同時に通常の訓練とは違った環境の中で利用者相互の協調性の助長を図るとともに、利用者及び職員の交流を深めリフレッシュすることを目的に毎年実施しています。4月初旬から野外訓練の場所や内容の検討を始め、5月下旬から利用者全員が参加してグループワークを合計4回実施し、当日に向けた準備を進めてきました。

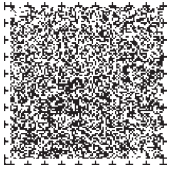
野外訓練前日には、障害別に分かれて利用者全員で、食材切りや袋詰め作業を行いました。皆さん手慣れたもので、予定した時間よりもとても早い時間

で71名分の食材準備をすることができました。頸髄損傷の方々は包丁を持つ機会がなかったため、最初は切ることが難しいのではないかと聞いていましたが、麻痺のある方でも使用できる包丁を使うことでキャベツを切ることができ、普段では経験できないことに挑戦することができました。

野外訓練当日は、早朝から小雨が降りましたが、出発するころには空が明るくなり、晴天に恵まれました。昭和記念公園の駐車場に到着してからは、バーベキューガーデンまで強い日差しを避けるため、木陰を選びながら徒歩で15分程かけて移動しました。会場では8班に分かれオリエンテーション終了後に各班ごとに昼食の準備にとりかかりました。食材を焼く順番などグループ毎に様々でしたが、高次脳機能障害の方が訓練で栽培し、収穫したジャガイモがとても好評でした。自分たちで切った食材や育てた野菜をいただいたこと、屋外でのバーベキューの醍醐味を堪能することができました。公園内は、梅雨の貴重な晴れ間だったからか昨年の猛暑日とは違い、風も心地よく調度良い天候でした。

結果として、今年は昨年の反省を活かし時期をずらしたことで活動しやすい季候に恵まれました。また、暑さの対策について事前から十分に説明していたことや、利用者の皆さんが自己管理について日頃から気をつけていたからこそ利用者全員が出席でき、センターへ戻り体調不良者もなく無事に終えることができ当日楽しく過ごせたのだと思います。また、事前の準備から関わることで普段の訓練成果を発揮できたことや、新しい経験ができたことなど有意義であったと思います。





平成23年度
自立訓練部 野外訓練しおり



氏名 ()

() 班

期日：平成23年6月21日(火)

場所：国営昭和記念公園パーベキューガーデン
国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局
自立訓練部

日程

- 8:00 宿舎各居室巡回・健康チェック
必要に応じて入所者診察室にて医師の診察
- 8:50 西棟玄関前集合・乗車開始(点呼)
- 9:15 センター出発
- 10:15 昭和記念公園西立川口駐車場到着
(点呼・移動)
- 11:00 パーベキューガーデン入口にて集合写真
パーベキューガーデン到着
- 11:30 受付・オリエンテーション
- 13:30 野外訓練(昼食)開始
- 14:00 野外訓練(昼食)終了
集合・点呼・移動
- 15:00 昭和記念公園立川口駐車場
(点呼・最終確認・出発)
- 15:00 センター到着・解散

当日の朝は

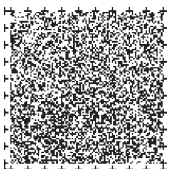
※当日は8時を目安に朝食を摂りましょう。

※トイレ等を済ませ準備が整ったら西棟玄関前に集まりましょう。

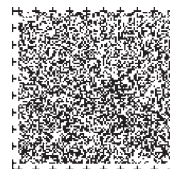
※余裕をもって行動し、忘れ物がないようにしましょう。

-1-

しおりの表紙と日程



東京都障害者就職面接会の参加について



自立支援局就労移行支援課就労相談室

自立支援局就労移行支援では、就職活動について理解を深めること、就労に結びつけることを目的に、就労マッチング支援の一環として、東京都や埼玉県西部地域の障害者就職面接会に参加するための支援を行っています。

さる6月22日（水）、平成23年度第1回東京都障害者就職面接会が千駄ヶ谷の東京体育館で開催されました。この面接会は都内全域を対象としていることから、求人企業292社、求人件数544件、求職者1,619人にも上る大規模なものです。

自立支援局から就職面接のために15名、見学のために2名の計17名が参加しました。同行した職員は10名で、うち1名は会場内の関係機関コーナーにて利用者募集活動を行いました。

当センターから会場までは、利用者、職員共々当センターの大型リフトバスに乗り、片道2時間弱の長旅となりました。

会場に到着後、持参したお弁当で早めの昼食をすませ、13時からの面接会開始までの間に、職員と協力して複数の企業の机の上にある番号札を効率よく取る作戦を練ります。番号札の順番で面接が行われるため、遅い番号の場合、16時の面接会終了時間までに面接ができなかったり、履歴書は受け取ってはもらえるものの、自己アピールができなくなるからです。なかには面接会開始と同時に番号札を取る人が殺到するという企業もありました。

面接の仕方は企業によって様々です。じっくり15分以上話をする企業、後日連絡として数分で終わる企業、面接官2人が同時平行で2人ずつ面接する企業等がありますし、面接内容もちろん千差万別です。

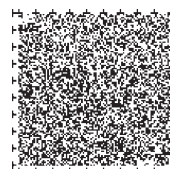
面接会が始まれば利用者と面接官の真剣勝負です。

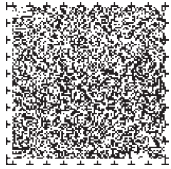
自分の思いどおりに面接を受けることができればよいのですが、実際には想定外のハプニングがいろいろと起きます。順番はまだまだ先と思っていたら、呼ばれた番号の人が他の面接に行っているため、どんだん番号が繰り上がってすぐ自分の番になり、心の準備ができる前に呼ばれてすっかり慌ててしまったり、緊張のあまり面接のはじめに履歴書を面接官に渡すことを忘れてしまい、面接途中で思い出して渡すなどということもありました。かと思えば、面接官が履歴書に目も通さず、開口一番に自己PRを求めてきたため、練習とは違う予想外のことでうろたえてしまい、うまく話せなかったという方や、会場が非常に騒がしいことに加えて、面接官の声が小さくて話が聞き取れずに困ったという方もいました。

面接会の時間中職員は、面接の進み具合を確認したり、面接直前まで対策を相談したり、地誌的障害のある方や目の不自由な方の移動介助をしたりと様々な支援をします。コミュニケーションの補助のために一緒に面接に入ることもあります。



写真は開始直前で準備中の会場





利用者は16時終了近くまで、積極的にかつ真剣に面接を受けていました。面接した企業数は多い方は5社にも上りました。事前の準備をしっかりとってきたこともあり、利用者は希望する企業との面接をすべて行うことができましたが、企業より二次面接の連絡のある者はごく少数であろうと思われます。

これから、9月の障害者雇用支援月間を契機として、各地でたくさんの就職面接会が開かれます。今

回の就職面接会の参加者は初めて面接会を経験する方がほとんどでしたが、今回の経験をこれからの就職活動に生かしていくことができるものと期待しています。

今後も支援内容を充実し、効果的に就職活動を展開して、一人でも多くの利用者が就職できるよう支援を行っていきたいと思います。



写真は平成23年2月の東京体育館会場

